

JIS

鑄鉄製管フランジ

JIS B 2239 : 2013

(JPFA/JSA)

平成 25 年 11 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 機械要素技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	高 増 潔	東京大学
(委員)	相 羽 繁 生	株式会社東郷製作所（一般社団法人日本ばね工業会）
	市 川 直 樹	独立行政法人産業技術総合研究所
	大 橋 宣 俊	日本ねじ研究協会
	高 辻 利 之	独立行政法人産業技術総合研究所（東京電機大学）
	田 淵 宏 政	一般社団法人日本バルブ工業会
	千 葉 誠	一般社団法人日本フルードパワー工業会
	遠 山 史 雄	一般社団法人日本ベアリング工業会
	堀 功	日本工具工業会
	宮 島 義 嗣	大阪機工株式会社（一般社団法人日本工作機械工業会）

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 8.1.1 改正：平成 25.11.20

官 報 公 示：平成 25.11.20

原 案 作 成 者：日本金属継手協会

（〒104-0031 東京都中央区京橋 3-14-6 斎藤ビル TEL 03-3564-2035）

一般財団法人日本規格協会

（〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571）

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会（部会長 稲葉 敦）

審議専門委員会：機械要素技術専門委員会（委員長 高増 潔）

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット産業基盤標準化推進室（〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1）にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目 次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	1
3 用語及び定義	2
4 フランジの種類及びその呼び方	2
5 ガasket座の種類及びその呼び方	2
6 めっきの有無による呼び方	2
7 流体の温度と最高使用圧力との関係	2
8 形状・寸法及び寸法許容差	3
8.1 ねじ	3
8.2 ガasket座面	3
8.3 フランジの寸法	3
8.4 寸法許容差	3
9 性能	4
9.1 フランジの材料	4
9.2 めっき	4
10 外観	5
11 試験方法	5
11.1 フランジの材料	5
11.2 めっき試験	5
12 検査	5
12.1 検査の種類及び検査項目	5
12.2 材料検査	6
12.3 めっき検査	6
12.4 ねじ検査	6
12.5 ガasket座面の仕上げ検査	6
12.6 形状・寸法検査	6
12.7 外観検査	6
13 製品の呼び方	6
14 表示	7
附属書 A (参考) 参考文献	19
附属書 JA (参考) JIS と対応国際規格との対比表	20
解 説	21

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、日本金属継手協会（JPFA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

これによって、**JIS B 2239:2004** は改正され、この規格に置き換えられた。

なお、平成 26 年 11 月 19 日までの間は、工業標準化法第 19 条第 1 項等の関係条項の規定に基づく JIS マーク表示認証において、**JIS B 2239:2004** によることができる。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

鑄鉄製管フランジ

Cast iron pipe flanges

序文

この規格は、1996 年に制定され、その後 2 回の改正を経て今日に至っている。前回の改正は 2004 年に行われたが、その後の関連する規格の改正及びめっき規定の追加に対応するために改正した。

なお、対応国際規格は 1988 年に第 1 版として発行された **ISO 7005-2**, **Metallic flanges—Part 2: Cast iron flanges** があるが、内容に不備ありとして、当該規格は現状使用されていない。そのような事情から、今回の改正では、国際規格との対応の程度の全体評価は“NEQ”とした。

1 適用範囲

この規格は、水¹⁾、油、蒸気、空気、ガスなどの流体に使用する鋼管を接合し、また鑄鉄製の管、管継手、バルブなどに使用する呼び圧力 5K、10K、10K 薄形、16K 及び 20K の呼び径 10A から 1500A までの鑄鉄製管フランジ（以下、フランジという。）について規定する。

注記 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。

ISO 7005-2:1988, **Metallic flanges—Part 2: Cast iron flanges** (NEQ)

なお、対応の程度を表す記号“NEQ”は、**ISO/IEC Guide 21-1** に基づき、“同等でない”ことを示す。

注¹⁾ 雑用水、消火用水、工業用水、空調用冷温水、冷却水などをいう。ただし、飲料用水は除く。

2 引用規格

次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格は、その最新版（追補を含む。）を適用する。

JIS B 0151 鉄鋼製管継手用語

JIS B 0203 管用テーパねじ

JIS B 0253 管用テーパねじゲージ

JIS B 0601 製品の幾何特性仕様（GPS）—表面性状：輪郭曲線方式—用語、定義及び表面性状パラメータ

JIS B 0621 幾何偏差の定義及び表示

JIS B 2001 バルブの呼び径及び口径

JIS B 2032 ウェハー形ゴムシートバタフライ弁

JIS G 5501 ねずみ鑄鉄品

JIS G 5502 球状黒鉛鑄鉄品

JIS G 5705 可鍛鑄鉄品